

事後評価書

事業名	富田山城線	事業区分	街路事業	室名	都市政策室 (四日市建設事務所)
事業概要	工期 (下段当初)	平成10年度～平成18年度	全体事業費 (下段当初)	10,360百万円(負担率:国3/6:県2/6:市1/6)	
		平成10年度～平成18年度		9,548百万円(負担率:国3/6:県2/6:市1/6)	
事業目的及び内容		<p>■当該路線の状況</p> <p>当該道路は、四日市市における東名阪自動車道四日市東ICと特定重要港湾の四日市港霞埠頭を結ぶ産業道路であり、第一次緊急輸送道路に指定されている重要な道路となっている。また、対象区間である1.56kmの中で、近鉄名古屋線・国道1号・JR関西本線と交差し国道23号に接続する道路である。</p> <p>■事業の目的</p> <p>平面交差であった国道1号との交差点において、渋滞が多発しており、産業及び都市生活の支障となっていた。このため、国道1号を立体交差化し、既に2車線で立体交差となっているJR線、近鉄線の高架部分を含めた全線4車線化を行い、円滑な都市交通の確保を図ることを目的とする。</p> <p>■事業の内容</p> <p>事業期間 9年間(平成10年度～平成18年度) 総事業費 10,360百万円(工事費:10,195百万円、用地費:165百万円) 事業延長 L=1,560m 道路幅員 W=30.0m</p>			
1. 過去の再評価時の意見		<ul style="list-style-type: none"> ・再評価対象事業の要件に該当しない。 			
2. 事業の効果		<p>■費用対効果分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果を分析した結果、 総便益(B) 234.5億円 総費用(C) 133.1億円 費用便益比は、1.8となる。 交通車両1台1km当たりの換算コスト 13円/台・km <p>■その他の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動時間の短縮 地域交通の結節点である四日市東ICから、地域の幹線道路である国道23号や物流拠点となる四日市港霞埠頭方面へのピーク時の移動時間が短縮された。 ・渋滞緩和 国道1号との交差点を立体化したことで、富田山城線の東方向の慢性的な渋滞が解消された。また、交差する国道1号の交通流動も円滑になった。 ・地域活性化への寄与 近年では、富田山城線沿線において商業施設や飲食店の立地が見受けられるようになった。 また、当該事業着手時に比べ、富田山城線周辺において宅地造成や工業団地等の土地開発が行われた。 ・防災機能の強化 三重県緊急輸送道路ネットワーク(第1次緊急輸送道路)に位置付けられていることから、高架化による交通流の改善により、渋滞が緩和され防災機能が強化された。 ・安全性、景観の向上等 歩道設置により、歩行者の安全性が向上した。 インターロッキングブロック、街路樹の設置により沿道景観が向上した。 			

3. 事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化

■環境面への配慮した事業内容

- ・環境負荷の少ない建設機械の利用
低騒音の機械、排出ガスの少ない機械の利用。
- ・環境負荷の少ない資材の利用
舗装の路盤材、アスファルト材にリサイクル材を適用し、建設資材のリサイクル化に配慮。

4. 事業を巡る社会情勢等の変化

■周辺地域の状況

・対象地域は、経済活動の拠点となる工業団地（四日市ハイテク工業団地）や物流の要となる高速IC（四日市東IC）、港湾埠頭（霞埠頭）が分布した地域で、対象路線周辺での道路事業が進められている。

■周辺の関連事業

- ・環状1号線（事業中/一部供用済）H22供用
- ・北勢バイパス（事業中/一部供用済）

■周辺の土地開発の変移

・対象地域周辺では、宅地造成や工業団地の造成などの土地開発が行なわれてきた。また対象地域周辺の地価の下落率も供用後は改善されるなど、この地域への期待が伺える。

5. 県民の意見

■アンケートの方法

沿道住民を対象にアンケート調査を実施した。

- ・調査方法：アンケート票を各戸に配布
- ・調査数：4,257票（周辺地区の約4割程度の一般家庭と全ての事業所）
- ・有効回答数：1,585票（回収率37.2%）

■アンケート結果

総合的な評価では、81%が『満足』と感じており、3%は何らかの『不満』を感じている。

□満足している点の内容

- ・渋滞がなく、スムーズに走行できる
- ・四日市東IC・北勢バイパス・四日市港霞埠頭へのアクセスが便利になった

□不満を感じている点の内容

- ・スピードを出す車が増えた
- ・交通渋滞が発生する

6. 今後の課題等

街路事業は、都市内において実施する道路改築事業であり、市民生活や経済活動等に伴う交通の円滑化を図るのみではなく、沿道の市街地化を誘導する等の機能を併せ持つなど都市の基盤として「まちづくり」に大きく寄与する重要な役割を担っている。

このため、今後とも引き続き、これら多岐にわたる事業効果等を考慮しつつ、事業箇所の重要性、緊急性を勘案しながら、計画的な整備を推進していきたいと考える。

位置図



事業箇所



四日市東IC

四日市港
霞埠頭

富田山城線
区間
L=1.56km